

平成26年度 宮城県バレーボール協会 公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験問題

平成26年7月5日(土)

平成26年7月6日(日)実施

【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。

問1 次の平成26年度6人制競技規則について、当てはまる語句を(A~C)の記号を選んで記入してください。

① 表面は、平坦かつ水平で、1 (A. 均一 B. 左右対称 C. フリーゾーン) でなければならない。選手に2 (A. プレー B. 負傷 C. 支柱) の危険が及ばないものでなければならない。粗い表面、または滑りやすい表面でプレーすることは禁止される。

FIVB世界・公式大会で許可されるのは、3 (A. コンクリート B. 硬い素材 C. 木製) または合成材の表面だけである。すべての表面は、事前にFIVBの4 (A. 承認 B. 計画 C. 提出) を受けなければならない。

② 競技エリアは、コートと5 (A. フロントゾーン B. フリーゾーン C. ペナルティーエリア) を含む。長方形で6 (A. 左右対称で B. 広く C. 大きく) なければならない。

コートは7 (A. 18m×9m B. 21m×10.5m C. 22m×11m) の長方形で、最小限8 (A. 5 B. 7 C. 3) mの幅のフリーゾーンで囲まれている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限9 (A. 5 B. 6 C. 7) mの高さがなければならない。

③ FIVB世界・公式大会では、フリーゾーンの幅はサイドラインから最小限10 (A. 3 B. 4 C. 5) m、エンドラインから最小限11 (A. 5 B. 8 C. 10) mなければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限12 (A. 10 B. 12.5 C. 15) mの高さが必要である。

④ すべてのラインは幅13 (A. 5 B. 6 C. 7) cmである。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。

アタックラインは、それぞれのコートに、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から14 (A. 1 B. 2 C. 3) mとなるように引かれる。アタックラインによりフロントゾーンが区画される。

FIVB世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ15 (A. 10 B. 15 C. 20) cm、幅5cmの短いラインを16 (A. 10 B. 15 C. 20) cm間隔で、全長17 (A. 1.75 B. 1.85 C. 2) mとなる破線を引き、延長される。

⑤ 各チームは、1セットにつき18 (A. 1 B. 2 C. 3) 回までのタイムアウトと、19 (A. 4 B. 5 C. 6) 回までの選手交代を要求することができる。

⑥ ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子20 (A. 2.38 B. 2.43 C. 2.45) m、女子21 (A. 2.24 B. 2.30 C. 2.38) mである。ネットの高さは、コートの中央部で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから22 (A. 1 B. 2 C. 3) cmを超えてはならない。

⑦ アンテナは長さ23 (A. 1.60 B. 1.70 C. 1.80) m、直径10mmの弾性のある棒で、24 (A. プラスチック B. ファイバーグラス C. 合成ゴム) または類似の素材で作られている。

アンテナの上部25 (A. 70 B. 80 C. 90) cmは、ネットの上方に伸び、この部分には対照的な色で、できれば赤と白で10cmごとのストライプを付ける。

- ⑧ サービスとブロックを除き、ボールを相手チームに送るすべての動作は、26 (A. アタックヒット B. パス C. ブロック) とみなされる。
アタックヒットは、ボールがネットの垂直面を完全に27 (A. 当たる B. 通過 C. 上がる) した時点、または相手選手に28 (A. 空振り B. 接触 C. 返球) した時点で完了する。
- ⑨ 2本のサイドバンドが、ネットに29 (A. 交差 B. 平行 C. 垂直) にしっかりと取り付けられる。その位置は両サイドラインの真上となる。サイドバンドは幅30 (A. 3 B. 4 C. 5) cm、長さ1mで、ネットの一部とみなされる。
- ⑩ ボールの規格は、円周31 (A. 62~65 B. 65~67 C. 67~69) cm、重さ32 (A. 240~260 B. 260~280 C. 280~300) g、内気圧33 (A. 0.30~0.325 B. 0.325~0.35 C. 0.35~0.725) kg/cm²である。

問2 次の競技規則の文章を読んで、_____部分について、正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) サーバーは、主審がサービスのホイッスルをした後、8秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (2) 相手チームのサービスをブロックすることは許されない。
- (3) 1回または2回のタイムアウトの要求、および1回の選手交代の要求は、どちらのチームがしても、同じ中断の中で連続して行うことができる。
- (4) ラインアップシートが副審または記録員にいったん提出されたなら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。
- (5) 各チームは、記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを2名指名しなければならない。
- (6) リベロが、個人または集団でのブロックを試みても、ブロックを完了しないと反則にはならない。
- (7) ブロッカーは、相手チームがアタックヒットを行うまでは、ネットを越えてボールに接触することは許されない。
- (8) バックプレーヤーは、バックゾーン (フロントゾーンの后方) からであれば、どの高さでもアタックヒットを完了することができる。
- (9) 反則 (ネットタッチ、センターライン踏み越しなど) をしそうになる選手をチームメイトが静止したり、引き戻したりしても反則にならない。
- (10) リベロのリプレースメントは、ボールがアウトオブプレーの状態でなくても行える。
- (11) セットの開始前、またはセット間の不法な行為に対しては、直後のセットに罰則を適用する。
- (12) 軽度な不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。
これは2段階で処置される。
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。
- (13) チームメンバーによる試合での最初の無作法な行為も、ステージ1を適用し、2回目で相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。 (ペナルティとしてレッドカードを示す。)
- (14) 身体的攻撃をする、または攻撃的、威嚇的な行為は、それが1回目であっても失格となる。 (レッドカード、イエローカードを別々に示す。)
- (15) 同じ試合で同じチームメンバーが不法な行為を繰り返した場合でも、無作法な行為であれば2回目以降もペナルティとしてレッドカードを示し、相手チームに1点とサービスを与える。

問3 次の文章は、競技規則「第5章 中断、遅延行為とインターバル」に関する用語の説明です。「遅延行為の種類」と「不当な要求」に区分し、解答欄にそれぞれの番号を記入してください。

- (1) 試合を再開するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- (2) 不当な選手交代を要求すること。(規則15.9)
- (3) 要求する権利のないチームメンバーが要求すること。(規則5.1.2.3, 5.2.3.3)
- (4) チームメンバーが試合を遅らせること。
- (5) 正規の試合中断を遅らせること。(規則15.10.2)
- (6) インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に2回目の選手交代を要求すること。(規則15.2.2, 15.2.3)
- (7) ラリー中、またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に中断を要求すること。(規則12.3)
- (8) 不当な要求を繰り返すこと。(規則15.11.3)
- (9) タイムアウトと選手交代の許容回数を超えて要求すること。(規則15.1)

問4 次の文章は、競技規則「第2編 審判員とその責務および公式ハンドシグナル」の中の「主審および副審の責務」に関するものです。主審の責務であれば「A」を、副審の責務であれば「B」を、両方の責務であれば「AB」を記入してください。

- ① レシービングチームのポジションの反則のとき。
- ② ボールをプレーするときの反則。
- ③ 主としてブロッカー側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- ④ サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則。
- ⑤ 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。
- ⑥ 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドでパスを上げ、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したとき。
- ⑦ バックプレーヤーがブロックの完了をしたときや、リベロがブロックの試みをしたとき。または、バックプレーヤーやリベロのアタックヒットの反則のとき。
- ⑧ 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が副審側の許容空間外側を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- ⑨ ネットの上方の反則と、主としてアタッカー側のタッチネットの反則。
- ⑩ ボールがフロアに触れて、主審がその接触を確認できないとき。

平成26年度 宮城県バレーボール協会公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	
----	--	----	--

問1 〈各2点×33〉

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33		

問2 〈各1点×15〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)

問3 〈各1点×9〉

遅延行為の種類				
不当な要求				

問4 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

平成26年度 宮城県バレーボール協会公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	模範解答
----	--	----	------

問1 〈各2点×33〉

1	2	3	4	5	6	7
A	B	C	A	B	A	A
8	9	10	11	12	13	14
C	C	C	B	B	A	C
15	16	17	18	19	20	21
B	C	A	B	C	B	A
22	23	24	25	26	27	28
B	C	B	B	A	B	B
29	30	31	32	33		
C	C	B	B	A		

問2 〈各1点×15〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	○	○	×
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	○	×
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
○	○	×	○	×

問3 〈各1点×9〉

遅延行為の種類				
(1)	(2)	(4)	(5)	(8)
不当な要求				
(3)	(6)	(7)	(9)	

問4 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
B	A	B	A	B
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
AB	AB	B	A	B

